

別紙

日本製紙グループ環境行動計画「グリーンアクションプラン2015」

基本項目	グリーンアクションプラン 2015
1 地球温暖化対策	化石エネルギー起源 CO ₂ 排出量を 1990 年度比で 25% 削減する。 化石エネルギー使用量を 1990 年度比で 30% 削減する。 物流で発生する CO ₂ 排出の抑制に取り組む。《新規》
2 森林資源の保護育成	持続可能な資源調達のため海外植林事業「Tree Farm 構想」を推進し、海外植林面積 20 万 ha を目指す* ¹ 。 国内外全ての自社林において森林認証を維持継続する。 輸入広葉樹チップの全てを、PEFC または FSC 材とする* ² 。 トレーサビリティを充実させ、持続可能な森林資源調達を推進する。《新規》
3 資源の循環利用	洋紙の古紙利用率を 40% 以上、板紙の古紙利用率を 88% 以上とする。 廃棄物の再資源化率を 97% 以上とする。 廃棄物発生量の 40% 以上を事業所内で再資源化する。 製造プロセスにおける水使用量の削減に取り組む。《新規》
4 環境法令の順守及び環境負荷の低減	環境マネジメントシステムにより環境管理を強化する。 化学物質の使用を適正に管理し、削減に努める。 サプライチェーン全体を通し、環境負荷のより低い原材料及び設備の調達を推進する。《新規》
5 環境に配慮した技術・製品の開発	木質資源の高度化利用を推進する。 脱化石燃料を促進する設備技術の開発を推進する。 環境配慮型製品・サービスを通じて環境負荷の低減を推進する。
6 積極的な環境コミュニケーション	CSR 報告書、ウェブの利用などを通し、ステークホルダーに環境情報を適時に開示する。 地域における環境コミュニケーションを住民・行政との対話などを通じて積極的に行う。 環境保全活動への参加・支援を活発に行う。
7 生物多様性への取り組み	事業活動が生物多様性に与える影響を認識し、生物多様性に対する全社的な取組みを推進する。《新規》

* 1 現時点では、達成期限を定めない。

* 2 FM 認証に加え、CW 認証も含む。

(ご参考:「グリーンアクションプラン2010」の達成状況)

http://www.np-g.com/csr/env_policies.html

当社グループは、2007年4月に「グリーンアクションプラン2010」を策定し、本年3月末まで取り組んでまいりました。残念ながら、経営環境の変化により、当社グループの主要製品である紙の生産量が減少したため、「化石エネルギー起源CO₂の排出原単位」と「化石エネルギー原単位」の削減目標は未達成に終わりましたが、残る目標につきましては、一部継続中のものを除き、すべて達成いたしました。

以上